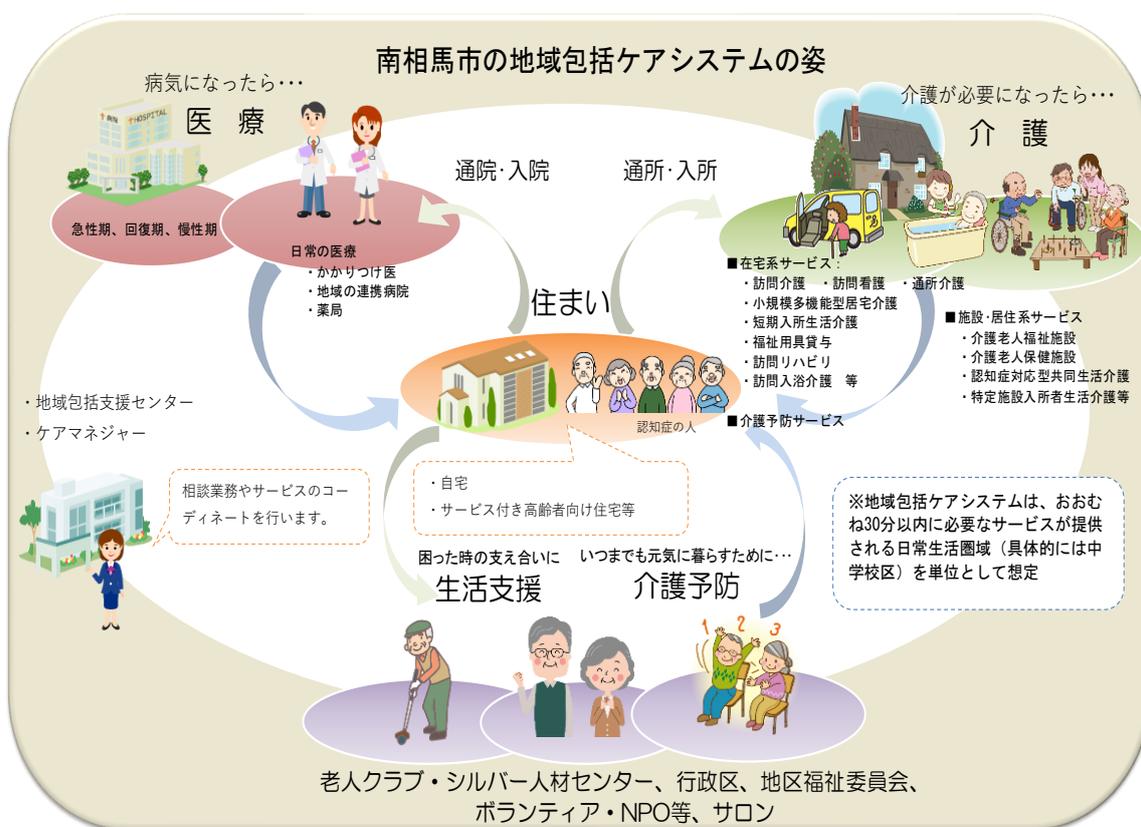


南相馬市地域包括ケアシステム推進会議の趣旨及び 取組実績について

1 地域包括ケアシステム推進会議設置の背景

厚生労働省では、いわゆる“団塊の世代（S22～S24 生の方々）”が75歳以上の後期高齢者となる平成37年（2025年）を目途に、例え要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいを一体的に提供する“地域包括ケアシステム”の構築を求めている。



【南相馬市高齢者総合計画から抜粋】

この“地域包括ケアシステム”の実現に向けては、特に、地域の特性を生かしながら、①生活支援体制の整備、②医療・介護の連携強化、③介護予防事業の効果的な取り組みの推進、④認知症施策の推進、⑤包括ケア推進会議の設置が重要であるとされている。

この、包括ケア推進会議とは・・・

「介護支援専門員、保健医療・福祉に関する専門的知識を有する者や民生委員その他により構成される会議」



本市においては、

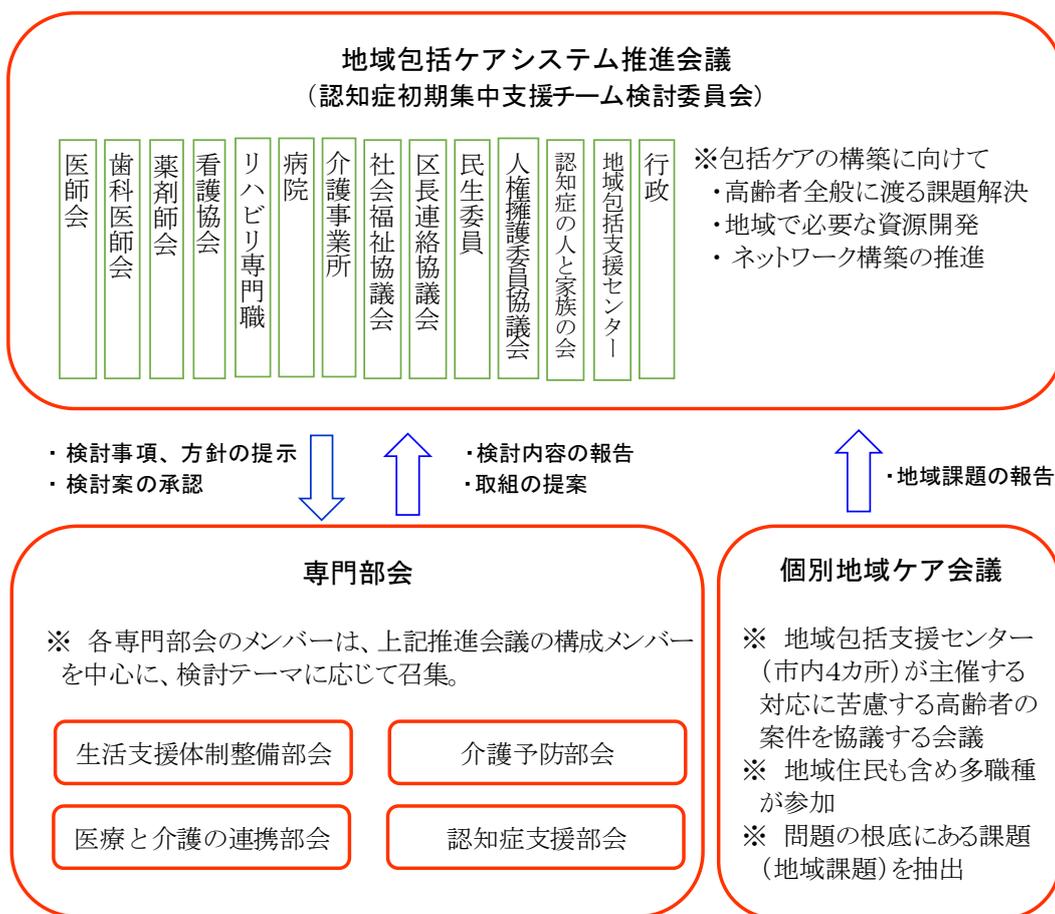
2 南相馬市地域包括ケアシステム推進会議の設置

平成27年8月に「南相馬市地域包括ケアシステム推進会議」を設置

- ※役割：・高齢者全般に渡る課題の解決
 ・地域住民などのインフォーマル活動の開発
 ・これまで以上のネットワーク構築の推進

平成28年度からは、より具体的な協議を行うため4つの専門部会を設置

「南相馬市地域包括ケアシステム推進会議」の取組イメージ図



【南相馬市高齢者総合計画から抜粋】

○会議開催回数

H27年度：全体会6回 H28年度：全体会3回（各部会3回）

H29年度：全体会2回 委員視察研修「第18回介護保険推進全国サミット」
 （場所：岩沼市 出席者：委員4名、事務局3名）

- ・生活支援体制整備部会 5回
- ・医療と介護の連携部会 2回
- ・介護予防部会 6回
- ・認知症支援部会 4回（研修会1回）

3 主な検討・取組事項

(1) 生活支援体制整備部会関係

① 国が示す生活支援体制整備事業への取組

⇒ 太田地区福祉委員会等と協議

※生活支援体制整備事業：(平成30年4月～)

専門的な事業者等のみでなく、地域住民、地縁団体等を含めた多様な主体が、高齢者の生活支援・介護予防の取組を推進するため、以下を配置、設置する事業

(1) 地域支え合い推進員を！(市全域版・日常生活圏域版)

(2) 協議する場(協議体)を！(市全域版・日常生活圏域版)

② 助け合い(包括ケア)の普及啓発

説明資料作成し、講演会、出前講座の実施

⇒ 地区福祉委員会、地区老人クラブ、南相馬市社会福祉協議会職員等

③ 高齢者生活支援ガイドブックの作成及び高齢者世帯への配布

④ 各種課題への対応策検討

○権利擁護の推進

・南相馬市成年後見制度利用支援事業実施規則の制定

→ 成年後見人等への報酬費用にかかる助成を創設

→ 市長が行う申立て(審判請求)要件の緩和

(親族による申立て等の有無の確認を4親等内から2親等内へ)

○外出支援の充実

・原町区及び鹿島区における「定額タクシー」事業(みなタク)の創設

○仮設住宅入居高齢者の円滑な退去

・仮設住宅担当部署、関係部署による支援策検討のケース会議の実施

⑤ その他

・介護予防・日常生活支援総合事業移行にかかる事業所訪問の検討

・ボランティアポイントの検討

(2) 医療と介護の連携部会関係

① 病院とケアマネジャー間の退院調整ルールについて

○当時、県が進めていた相双圏域のルール策定において、内容を議論し、県に対して意見書を提出

○ルール開始後は各機関の運用状況、問題点等を意見交換

② 包括ケアにかかる薬局の活用

○適切な服薬、残薬管理に向けた在宅訪問の推進

⇒「(相馬薬剤師会)在宅訪問対応薬局一覧」を作成し、介護支援専門員研修会で、薬局への相談方法等を説明

○国が示す「患者のための薬局ビジョン」の把握

③ 情報連携ツール「キビタン健康ネット」等の情報共有

④ 在宅医療(往診)及び訪問看護の現状把握(アンケートの実施)

(3) 介護予防部会関係

① 介護予防の普及・啓発について

- 地域の中で介護予防活動を推進していくために、南相馬市として「いきいき80（はちまる）運動」（目指せ！健康寿命80歳代）を展開する方向で、その普及内容と方法を検討。普及内容として、運動、口腔・栄養、生きがい・社会参加についてチラシを作成し、65歳介護保険証送付時に同封し周知予定。

(4) 認知症支援部会関係

① 認知症の人を支える社会資源の整理シート作成

- 認知症ケアパス作成に向けての情報整理
 - ・認知症地域支援推進員の役割確認→認知症地域支援推進員会議の開催
 - ・認知症ケアパス作成

② 認知症の普及・啓発について

- 認知症に関する地域課題を抽出。
 - ・認知症に関する正しい理解、認知の早期発見、認知症高齢者の見守り体制について検討
- 認知症に関する正しい理解、認知の早期発見のために
 - ・認知症フォーラム開催（H28年度）
 - ・広報みなみそうま掲載 認知症の人と家族の会事業、世界アルツハイマーデーに合わせて啓発活動（9月）
 - ・H29年度 普及・啓発のテーマ「あれっ？と思ったら声に出そう！」
 - ・認知症サポーター養成講座の拡充 キャラバンメイトを増やす
 - ・認知症の講話「あれっ？と思ったら声に出そう！」を健康づくり課と協働でH30年度より実施予定。使用チラシを作成。

③ 認知症高齢者の見守りについて

- 講演会の実施
 - ・H29年度 支援者向け講演会
「認知症になっても～地域で暮らし続ける為に～私たちが出来ること」
 - ・H30年度 市民向け講演会 予定